

## 病虫害発生予察 3月月報 (生育概況及び病虫害の調査結果)

令和8年3月の気象表 (長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	4.0	4.7	9.5	13.0	6.0	10.5	64.3	74.6	77.9
	平年	2.9	4.3	5.6	19.0	16.0	25.1	52.7	59.0	61.5
松 本	本年	3.7	4.7	9.7	30.5	2.0	18.0	69.7	78.5	73.2
	平年	3.1	4.6	5.9	28.0	18.3	31.8	58.5	65.1	67.3
諏 訪	本年	3.5	4.0	9.0	15.0	14.5	32.0	78.4	79.0	64.1
	平年	2.6	3.9	5.3	29.7	23.2	36.1	61.4	67.7	69.8
軽井沢	本年	0.0	1.1	5.7	16.0	7.0	24.5	72.6	67.1	65.2
	平年	-0.3	1.1	2.4	21.5	16.5	30.3	58.3	67.1	69.4
飯 田	本年	6.3	6.7	10.7	26.5	29.0	54.0	81.5	78.9	62.8
	平年	4.7	5.9	7.4	43.9	40.6	54.7	57.6	64.0	66.9

### ○3月の気象概況 (令和8年4月2日発表)

上旬と中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響で雨や雪の日もあった。

一方、下旬は数日の周期で天気の変化し、31日は南から暖かい空気が流れ込んで最低気温を更新したところが多かった。

## 1 麦

### (1) 生育概況

令和8年産(令和7年播種)の生育概況は、農業試験場ホームページの生育調査にある「麦類の生育状況(令和8年産(令和7年播種))」を参照ください。

農業試験場ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyoshiken/teirei/index.html>

### (2) 病虫害の発生状況

小麦の土壤伝染性ウイルス病 (コムギ縮萎病・麦類縮萎病)

近年、耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われたため、発生面積は減少傾向であったが、中信と北信地域の一部の感受性が高い品種の作付ほ場で発生がみられた。

## 2 りんご

### (1) 生育概況

令和8年産の果樹生育概況は、果樹試験場ホームページの定例調査にある「令和8年の生態調査結果」および南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和8年果樹生態調査」を参照ください。

果樹試験場ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kajushiken/chosa/teirei/index.html>

南信農業試験場ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nannoshiken/joho/sokuho/index.html>

### (2) 病虫害の発生状況

#### ① ハダニ類

巡回調査では、リンゴハダニの越冬卵が南信および中信地域で見られ、特に南信地域は平年と比べ多かった。

第1表 リンゴハダニの1短果枝あたりの越冬卵数

地域	2026年(本年)			平年	2025年	2024年	2023年
	調査ほ場	寄生ほ場	越冬卵数 (地域平均)				
東信	3	0	0.0	0.8	4.0	2.5	1.5
南信	5	3	5.6	1.9	0.8	0.5	2.2
中信	5	3	2.3	0.9	2.8	1.2	2.2
北信	8	0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.1

本年調査日: 2026年1~2月

平年は、2016年から2025年までの平均値(調査ほ場の変更あり)

越冬卵数の計算方法は、以下の基準及び計算方法より算出

・越冬卵数程度別基準

無: 0個、少: 1~25個、中: 26~50個、多: 51~75個、甚: 76個以上

・1短果枝あたりの越冬卵数

$\frac{13(\text{少の短果枝数}) + 38(\text{中の短果枝数}) + 63(\text{多の短果枝数}) + 88(\text{甚の短果枝数})}{\text{調査短果枝数}}$

## 3 なし

### (1) 生育概況

2 りんご(1)生育概況と同様に南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和8年果樹生態調査」を参照ください。

(2) 病害虫の発生状況

①黒星病

ナシ黒星病菌子のう胞子の飛散は、みられなかった。

第1表 ナシ黒星病菌子のう胞子飛散消長(個)

高森町(南信農業試験場) 4月15日現在

区分	4月					
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
平 年	4	152	338	957	3,292	1,435
前 年	0	0	6	5	34	5
本 年	3	0	22			

平年は、2016年から2025年までの平均値

②ハダニ類

短果枝に産下されたリンゴハダニの越冬卵は、ほとんどみられなかった。

第2表 リンゴハダニの1短果枝あたりの越冬卵数(個) 病害虫防除部

区分	二十世紀		幸 水				
	中川村	松川町	高森町	豊丘村	下條村	松川町	塩尻市
平 年	1.9	0.9	0.6	0	0.0	0	0
前 年	8.7	0	0	0	0	0	0
本 年	0.4	0	0	0	0	0	0

平年は、2016年から2025年までの平均値

越冬卵数の算出方法は「りんご」(リンゴハダニ)を参照

4 **う め**

(1) 病害虫の発生状況

①かいよう病

巡回調査ほ4ほ場で発生はみられなかった。

②黒星病

巡回調査ほ4ほ場のうち3ほ場で枝病斑がみられたが、発病度は低かった。

5 **野菜全般**

(1) 病害虫の発生状況

①アブラナ科野菜のコナガ

フェロモントラップ調査によると、塩尻市(野菜花き試験場)では、3月は誘殺がみられなかったが、小諸市(野菜花き試験場佐久支場)では、3月第2半旬に初誘殺がみられ、第6半旬は誘殺数が多くなり、発生時期は平年並~やや早か

った。

第1表 コナガ成虫のフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	3月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5	1.2
		本年	0	0	0	0	0	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.3	0.4	0.8	0.6	1.0	1.2
		本年	0	1	0	0	2	9

平年は、塩尻市は2019年から2025年まで、小諸市は2020年から2025年までの平均値

②レタスのナモグリバエ

黄色粘着板によるトラップ調査では、小諸市(野菜花き試験場佐久支場)でナモグリバエは3月第6半旬に初誘殺がみられた。

第2表 ナモグリバエの黄色粘着トラップによる誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	3月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	—	—	0	0	0.3	0.6
		本年	0	0	0	0	0	1

平年は、2018年から2025年までの平均値

③たまねぎの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

④その他のフェロモントラップ等誘殺状況

塩尻市(野菜花き試験場)における調査では、3月第6半旬にカブラヤガの初誘殺がみられた。

タマナギンウワバとオオタバコガは、塩尻市、小諸市ともに3月は誘殺がみられなかった。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の飛来消長調査では、塩尻市、小諸市ともに3月は誘殺がみられなかった。